

日本アブダビ経済協議会 Sustainable Energy ワーキンググループ

Technical Workshop の開催

2024年2月7日
一般財団法人 中東協力センター

中東協力センター（JCCME）は、アブダビ政府経済開発庁（Abu Dhabi Department of Economic Development : ADDED）と「日本アブダビ経済協議会（Abu Dhabi-Japan Economic Council : ADJEC）」を2012年より開催してきておりますが、ADJEC 傘下事業の一つである、Sustainable Energy ワーキンググループ（WG）の2023年度の活動として、日本の脱炭素関連技術を紹介し、日本企業のアラブ首長国連邦（UAE）でのビジネス機会の創成を支援するため、オンラインで Technical ワークショップ（全5回、各回1時間）を開催しました。

各回のテーマおよび講演企業は下記の通りです。

	開催日	テーマ	講演企業		参加者数
			日本側	UAE側	
第1回	5月25日	Net Zero Strategy	経済産業省	ADNOC	約200名
第2回	7月26日	Hydrogen/Ammonia for Thermal Power Generation	三菱重工業	ADNOC Khalifa大学	約320名
第3回	9月12日	Development of Synthetic Fuels and Remaining Challenges & Opportunities	INPEX つばめBHB ちとせ研究所	Khalifa大学	約180名
第4回	11月8日	Development status of CO2 Recovery from the Atmosphere	川崎重工業	ADNOC Khalifa大学	約210名
第5回	12月20日	Development of Battery Energy Storage Systems	日本ガイシ	MASDAR	約360名

本 WG における当センターのカウンターパートは、アブダビ国営石油会社（ADNOC）です。UAE 側の主な出席者は ADNOC および再エネ事業を行っている MASDAR であり、一方で日本側は ADJEC 委員企業にご案内を行い、それらの企業の方々にご参加いただきました。

尚、アブダビ側の要望に基づき、第1回目は民間企業からの技術紹介ではなく、政府としてのカーボンニュートラルへ向けた戦略に関する解説となりました。



アブダビ側（ADNOC 様）ご挨拶（第1回）



経済産業省様ご講演（第1回）



その後、第2回目以降は水素・アンモニアに関連する技術や合成燃料・バイオ燃料、大気からのCO2直接回収、蓄電池といったテーマにつき、日本企業より現在の開発状況や技術の特徴、実績などを中心に講演いただきました。

オンライン開催ゆえに参加者同士のネットワーキングの機会は設けられなかったものの、各回とも参加者から質問やコメントがあり、有益なコミュニケーションを取ることが出来ました。また、第5回目終了時には、アブダビ側からも本WG開催における当センターの協力に対する謝意が示されるとともに、今後もJCCMEとの良好な関係を継続していきたいとお言葉をいただきました。

UAEは2050年までのカーボン・ニュートラル達成を打ち出しています。また、2030年までの温室効果ガス（GHG）排出削減目標を2022年に定めた31%から40%へ引き上げたほか、2023年11月には、ドバイで国連気候変動枠組み条約第28回締約国会議（COP28）を開催するなど脱炭素への取り組みを加速させています。

JCCMEは引き続き、日本およびUAEの関係機関と連携の上、UAEの脱炭素分野における事業に向けた日本企業の活動を支援します。

以 上